



kakeruyume
武蔵野市立第五小学校
学校だより 7月号
令和8年7月1日

学校の外で出せる姿

校長 鈴木 健太郎

梅雨時のしっとり降る雨の中に見るアジサイが風情のある6月ですが、今年は大雨、台風に悩まされました。思うように気温と水温が上がらず中止したこともありましたが、近年の暑さを見越して開始を早めた水泳指導は、今年度も関前南小学校、第五中学校のプールをお借りして行っています。

第五中学校プールはプールサイドが広く、広々とした雰囲気です。水位を小学生用に下げ、安全を確保して行っています。管理職も引率し行っている関前南小では、指導前後に体育館のフロアをパーテーションで仕切り、冷房の効いた中で着替えを行っています。プールだけでなく体育館まで使わせていただけることは、本当にありがたいです。

移動する道中、声をかけてくださる地域の方に、自然と挨拶をしている姿、関前南小で迎えてくださる先生に挨拶やお礼を言っている姿は微笑ましさとともに気持ちのよさを感じます。

さて先日、6年生と日光移動教室に行ってきました。印象的だったのは、6年生の行動や態度を様々な場所でほめていただいたことです。日光東照宮ガイドや富弘美術館学芸員の方からは子どもたちの真剣さと静かに聞く態度について、宿の方からは楽しむ時とすべき時の切り替えのはやさや話の聞き方(ちゃんと目を見て話を聞いていること)、挨拶について直接ほめていただきました。

この姿は、日々の学校生活や2回の宿泊行事で積み上げてきたからだけではなく、6年生が自ら目的意識と感謝の気持ちをもって3日間過ごしたからこそ出る自然な姿だと思います。

学校の中では気付かない子どもたちの成長やよさを、校外に出て改めて感じるが多かった6月。五小が積み上げてきたよさの1つを、校外でも体现できる姿を頼もしく感じたとともに、このよさもこれからに繋げていきたいと感じました。

6月24日(水) 第2回開かれた学校づくり協議会 報告

今年度2回めとなる今回、前半は前回の熟議の振り返りを通して、今の児童の思いや様子をいくつかの視点で再確認し、それぞれが感じた思いを共有しました。

後半は、「目指す『地域像』」をテーマに熟議を行いました。はじめに「五小を囲む『イマ』の地域像」について、この地域のよさや特徴、他にはないところ、逆に問題点や気になっていることを出し合いました。次にテーブルを変え、他のグループが出し合った意見と、自分が話し合ってきた意見を踏まえながら、「目指す」地域像について、こうあってほしい、こうあるべき、そのためにやらないといけないこと、それを阻むものについて考えました。

多くの意見が出された今回の熟議は、学校や開かれが学校と家庭と地域のハブとなって、世代を越えて地域を繋いでいくことの大切さと、そのために開かれとしてどのようなしかけを行っていくべきか、今後の活動のきっかけになっていくと感じました。

※次回は7月15日(水)に行います。



7月の生活目標

物を大切にしよう

生活指導部

学期末を迎え、多くの落とし物が学校に届けられています。記名がないため持ち主へ返せない物が少なくありません。学校では、一つ一つの持ち物に記名をすることや、自分の持ち物を整理整頓・管理することを指導しています。また、遊具や体育館の用具など、みんなで使う物を大切に扱うことも伝えています。ご家庭でも、持ち物の記名や整理整頓、物を大切に扱うことについてお声掛けをお願いいたします。